

◆総務委員会

◇反対多数で陳情を不採択！

越川 慶一 委員長

「寿都町並びに神恵内村の核のごみ最終処分場の文献調査応募問題に係る決議に関する陳情」については、審査の結果、願意に沿いがたく不採択となりました。

陳情者から「農業・漁業分野、観光分野などへの風評被害も含め住民の生活環境に極めて重大かつ深刻なものになる可能性がある」などの趣旨説明が行われ、市側から「北海道制定の特定放射性廃棄物に関する条例を遵守し、本市としては放射性廃棄物の最終処分場を受け入れることはない」などの説明がありました。

質疑では「放射性廃棄物の持ち込みは慎重に対処すべき」などの意見の一方で「放射性廃棄物の最終処分は重要な問題であり未来につけを回してはならない」などの意見が出され、反対多数で不採択となりました。



委員会風景

◆厚生委員会

◇幼児死体遺棄事件に主委員が質疑！

宇多 春美 委員長

苫小牧市立病院新改革プラン自己評価及び令和2年度苫小牧市立病院改革プラン評価報告書については、紹介者数増の取り組みや訪問診療の現状について質疑があり、苫小牧市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画（計画素案）については「シルバーリハビリ体操」指導士育成のため養成講座の要望、有償ボランティア・ケアマネジャーへの支援などの質疑がありました。



委員会風景

その他の事項で、幼児死体遺棄事件について全委員から質疑があり、報道されていることに対しての事実関係及び市が捉えている情報などに対して、苫小牧市情報公開条例に照らし、事実関係は警察の捜査段階であり、相談や支援の有無を含めて個人情報にあたるため公表はできないなどの答弁がありました。

◆文教経済委員会

◇苫小牧市史編さんの進捗状況についてなど質疑！

大西 厚子 委員長

「国の責任による少人数学級の実現を求める要望意見書提出に関する陳情」については審査の結果、不採択となりました。

所管事項の「成年年齢下げに伴う式典の在り方について」では、アンケートなどの結果を踏まえ、式典の対象年齢を20歳とし、名称を「(仮称)苫小牧市はたちのつどい」とするなどの説明がありました。「苫小牧市史編さんの進捗状況について」では、新「苫小牧市史」編さんの方針などについて説明があり、委員からは、最終案のチェックについて、女性史の視点を盛り込むことについて、構成・体裁についてなど質疑が交わされました。



現在の苫小牧市史

ほかに、コロナ禍における市内事業者の状況と支援について質疑がありました。

◆建設委員会

◇市営住宅管理業務の民間委託について議論！

谷川 芳一 委員長

市営住宅管理業務の民間委託では既存住宅の建替えや解体により管理戸数を削減するまでは段階的に業務委託を拡大し、将来的に指定管理者制度の導入を見据えることが報告されました。委員からは委託による効果について質疑があり、令和3年10月から民間委託を開始し、その効果額は約250万円、管理事務所時間延長や休日対応などのサービス向上について答弁がありました。



委員会風景

橋梁長寿命化修繕計画改定では平成26年度から5年間の点検結果を踏まえ、令和2年から今後10年の修繕計画が示されました。その他、水道スマートメーター実証試験、市営住宅など長寿命化計画(案)について報告がありました。